

今年一年の平穏を願って

三百年以上続く「高津のハツカビシヤ」

高津比咩神社では、弓を射る神事「オビシヤ」が毎年1月20日に行われています。一年の吉凶を占い、豊作を祈願する伝統行事で「高津のハツカビシヤ」として市の無形民俗文化財に指定されています。この神事の起源は定かではないものの、御神体が収められた木箱の中の書き付けには、宝永八年(1711年)と記載があり、300年以上受け継がれてきたことがわかります。当日は地域の人が見守る中、鳥居の前に立てられた的に向け、氏子たち13人が次々に弓を引きました。全員が射終わると「今年はずいぶん一年になるでしょう」と神主。矢は持ち帰って神棚に一年間供えることで、無病息災や家の繁栄を願います。



▲的に描かれた文字を地元では「甲・乙・ム(無) / こうおつなし」といい、良くも悪くもない中くらいがよいとされています

今号の紙面から

- ◆市の相談案内.....2・3
- ◆広報女性版「少年自然の家に
行ってみよう」.....4・5

八千代市民憲章

光よ、土よ、風よ、水よ、きょうも新しい命をありがとう。
わたしたちは、生ある限り、互いに支え合い、共に生きる社会をつくるため、ここに八千代市民憲章を定めます。

1. やさしい心と明るい声が響き合う、健やかなまちをつくりまします。
1. 小さな一歩を積み重ね、地球を考えるまちをつくりまします。
1. よろこびと希望に満ちた、安心して住めるまちをつくりまします。
1. 自然を愛し、緑と花を育て、文化と潤いのあるまちをつくりまします。
1. みんなで支え合い、共に生きるまちをつくりまします。

平成10年11月19日制定

募集 市民参加型の農業を取り入れたい農家

次の①～⑥のような市民参加型の農業を取り入れたいと考えている農家を募集します。①農家の畑やハウスでイチゴ、トマト、キュウリなどのもぎ取り体験を実施する ②農家の畑でエダマメやサツマイモなどの区画制収穫体験を実施する(オーナー制度) ③農家の指導のもとに作付け、収穫などを行う農業体験を実施する ④農家と一緒に田植え、稲刈りなどの一貫した作業を行う農業体験を実施する ⑤農地を区画制にして貸し出す市民農園を開設する ⑥日帰りまたは宿泊で中学生や高校生などを受け入れ、農作業などの農家生活体験を実施する ※詳細は、やちよ農業交流センター 画(406)4778へ(農政課)

3月3日(月)から「ガキ大将の森」キャンプ場の利用受け付けを開始します
「ガキ大将の森」は、野外活動を通じて青少年の健全育成を図ることを目的とした施設です。六角形のきのこ型宿泊棟には、1棟に子ども約6人が泊まれます。バーベキューや飲酒はできませんので、ご注意ください。
▼対象 市内に本拠地がある少年関係団体と引率者。または市内在住で、中学生以下の子どものいる家族。いずれも、20歳以上の引率者がいること ▼利用期間 7月1日(火)～10月31日(金) ▼利用時間 ①宿泊(一泊のみ)：午後2時から翌日午後1時まで ②一時利用：午前9時から午後4時まで 宿泊者を優先。空きがある場合は、一時利用もできます ▼使用料 無料(新代は実費) ▼申し込み 往復はがきに住所、氏名、電話番号(日中連絡がつく番号)、希望日、人数、宿泊か一時利用かの区別、返信先を書き、〒276-10045大和田138-12教育委員会庁舎内青少年課へ郵送。3月20日(木)必着。はがき1枚につき利用希望は1件までで、同一日に同一グループなどの複数応募はできません。申し込み多数の場合は抽選。空きがある場合は、4月1日(火)から電話または同課窓口で受け付けます ▼問い合わせ 青少年課 画(481)0306